

争議状況

(第六報)

一、争議職工團體静

標記工場職工ハ争議勃發、當初ヨリ蒲田側ヲ
 主動トシ常ニ之ニ隨伴スル有様ニシテ特ニ今
 以争議ノ原因タル前回争議ニハ殆ド同共セリ
 ヲシノミナラズ這般ノ職首処分ニ於テモ蒲田
 工場ノ約一割ニ過キタル少數ニ止リシ關係ト
 一般ニ職意乏シク現在ニ於テハ辛シク結果ヲ
 保テツ、アル有様ナルカ争議弁先彼己ニ月給
 ニ及ビ而モ争議前ノ平均收入ハ時給十七八元
 ハ時間制ナリシヲ以テ舊狀ノ締結案ノ為メニ
 有家族職工ノ如キハ特ニ甚シキ生活ノ脅威ヲ
 感シ既ニ承認ヲ得テ争議團ヲ脱退シ他工場ニ

就職セルモノ九名ニ及ビ尙内心轉勤ヲ希望ス
 ル尙尠カラザルニ事業不振ノ折柄トテ就職願
 ル困難ナルニ加ヘ永年勤続者ニアリテハ情誼
 上今工場ヲ去リ難キモノアリ己ハ無ク争議團
 本部ニ集合シツ、アル有様ナリ

尚蒲田争議團が蒲田町一部有志、寄附ヲ幣メ
 ワ、アルハ既報ノ如クナルカ東京工場側ニ在
 リテハ一般住民ニ對スル寄附要請ハ暫ク之ヲ
 見合スコト、ナリ只客月二十八日別紙ノ如ク
 印刷物ヲ月島各工場職工ニ頒布シ罷業後援ノ
 意味ニ於ケル旨ヲ請フ如アリタリ

一、會社側ノ態度